

2009年12月期 決算説明会

株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント
<http://corp.jac-recruitment.jp>

2010年2月17日



2009年12月期決算概要とマーケット分析

取り組みとその効果

2010年営業方針と事業見通し

その他参考資料



-1 2009年12月期 決算実績

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

人材紹介事業の売上高は、昨年の46%ダウン

(単位:百万円)

	08年12月期 実績	09年12月期 実績	前年同期 差額	前年同期 増減率	09年12月期 予想 (09.8.11発表)	予実 差額	予実比
売上高	7,779	4,231	3,548	45.6%	4,266	35	99.2%
人材紹介事業	7,007	3,776	3,231	46.1%	3,853	77	98.0%
人材派遣事業	772	455	317	41.1%	413	42	110.2%
売上総利益	7,144	3,877	3,267	45.7%	3,942	65	98.4%
販売費及び 一般管理費	7,200	4,614	2,586	35.9%	4,648	34	99.3%
営業損失	55	736	681		706	30	
経常損失	41	729	688		700	29	
当期純損失	833	773	60		707	66	



-2 2009年 事業推移 - 上半期・下半期の比較

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

(単位:百万円)

	09年12月期 上半期	09年12月期 下半期	下半期vs 上半期 差額	下半期vs 上半期 増減率
売上高	2,351	1,880	471	20.0%
人材紹介事業	2,096	1,679	417	19.9%
人材派遣事業	254	200	54	21.3%
売上総利益	2,154	1,722	432	20.1%
販売費及び 一般管理費	2,660	1,953	707	26.6%
営業損失	505	230	275	-
経常損失	499	230	269	-
当期純損失	501	272	229	-



-3 2009年コスト削減プログラム - 半期比較

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

(単位:百万円)

経費項目	08年12月期 上半期	09年12月期 上半期	09年vs08年 上半期比	08年12月期 下半期	09年12月期 下半期	09年vs08年 下半期比
人件費	2,408	1,752	27.2%	2,540	1,243	51.1%
地代家賃	382	375	1.8%	397	296	25.4%
広告宣伝費	523	391	25.2%	493	260	47.3%
システム	116	81	30.2%	105	91	13.3%
その他	137	60	56.2%	95	61	35.8%
合計	3,568	2,660	25.4%	3,632	1,953	46.2%

・社員数 2008年12月末:810人 2009年12月末:395人 (51%カット)



-4 2009年コスト削減プログラム - 単月比較

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

(単位:百万円)

経費項目	08年12月 単月	09年6月 単月	09年12月 単月	10年1月 単月	10年1月vs 08年12月
人件費	386	239	201	183	52.6%
地代家賃	68	60	54	41	39.7%
広告宣伝費	75	51	39	30	60.0%
システム	17	13	17	9	47.1%
その他	13	9	20	6	53.8%
合計	561	372	333	270	51.9%

・2010年1月のコストは、2008年12月に比べて半減



-5 貸借対照表概要

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

科目	08年12月期末		09年12月期末		差異の主な要因
	(百万円)	構成比(%)	(百万円)	構成比(%)	
流動資産	2,195	69.9	1,007	60.4	
現金及び預金	1,613	51.4	629	37.7	当期純損失の発生 事業再構築費用の支払
売掛金	352	11.2	224	13.4	
固定資産	944	30.1	659	39.5	
有形固定資産	255	8.1	183	11.0	
無形固定資産	114	3.7	105	6.3	
投資その他の資産	575	18.3	369	22.1	
資産合計	3,140	100.0	1,667	100.0	
流動負債	1,085	34.6	398	23.9	事業再構築費用の支払
固定負債	14	0.4	-	-	
負債合計	1,099	35.0	398	23.9	
株主資本合計	2,041	65.0	1,268	76.1	
負債・純資産合計	3,140	100.0	1,667	100.0	



-6 キャッシュ・フローの状況

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

(単位:百万円)

区 分	08年12月期	09年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	83	1,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	48	136
財務活動によるキャッシュ・フロー	182	101
現金及び現金同等物期末残高	1,613	629

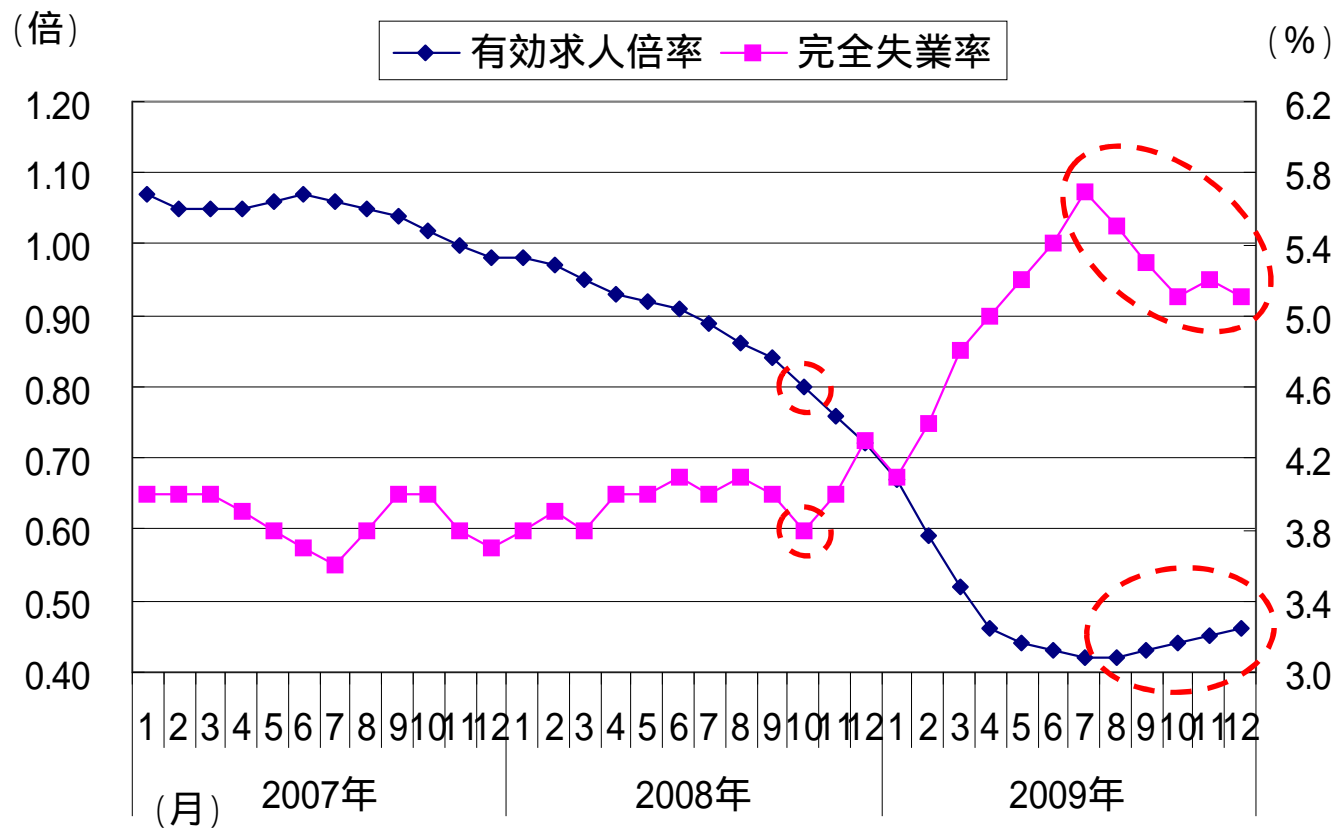
現金及び現金同等物期末残高

主に当期純損失、事業再構築費用の支払いにより、984百万円の減少



-7 マーケット分析 - 有効求人倍率、完全失業率

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析



・有効求人倍率
2009年9月以降、
微増で改善傾向に

・完全失業率
2009年7月をピークに
改善し始めたものの
未だ不安定

全体としては、
依然過去最悪の水準に
あることに変化はない

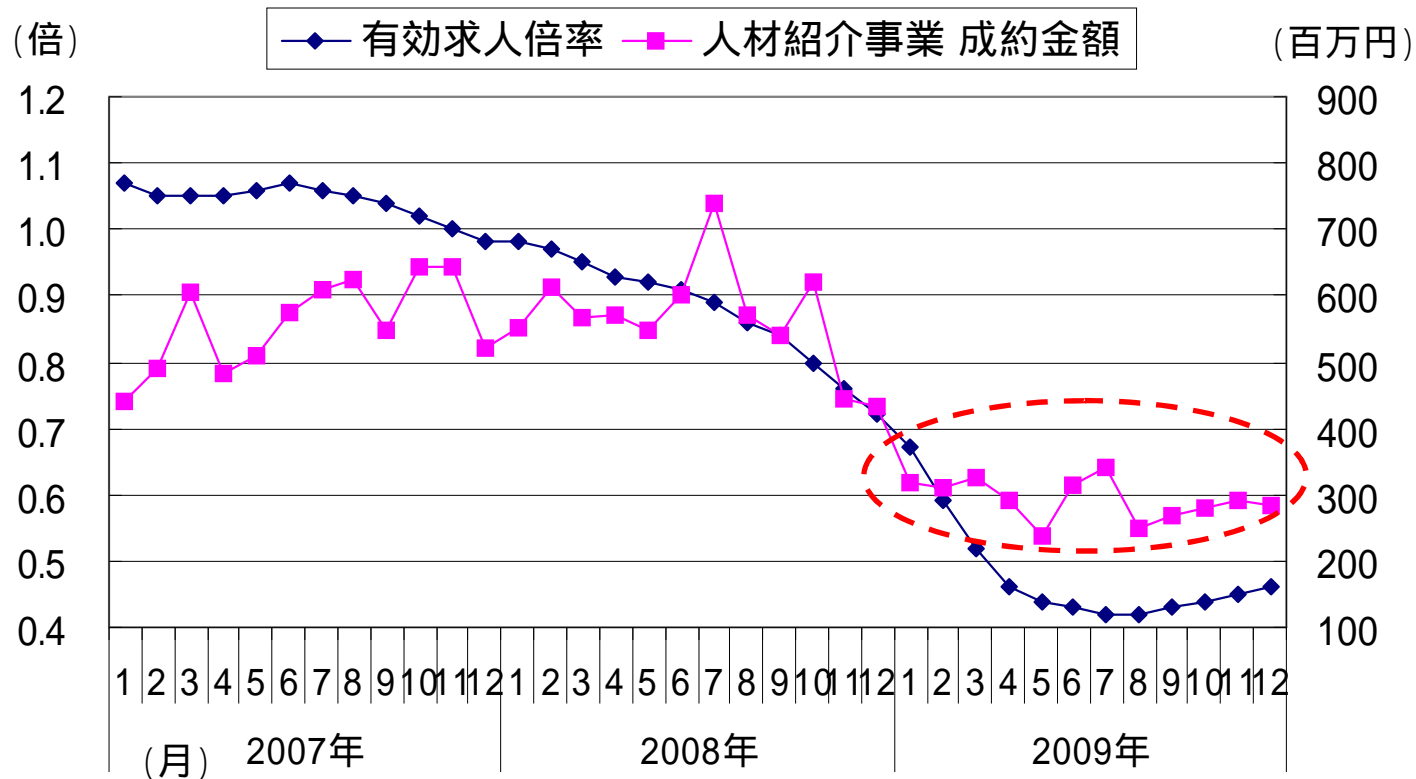
(出所) 有効求人倍率(季節調整値): 厚生労働省
完全失業率(季節調整値): 総務省



-8 当社人材紹介事業の業績推移

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

有効求人倍率と人材紹介事業の月次成約金額の推移



有効求人倍率は
2009年9月以降
徐々に改善

当社業績も
それに比例し
改善傾向に

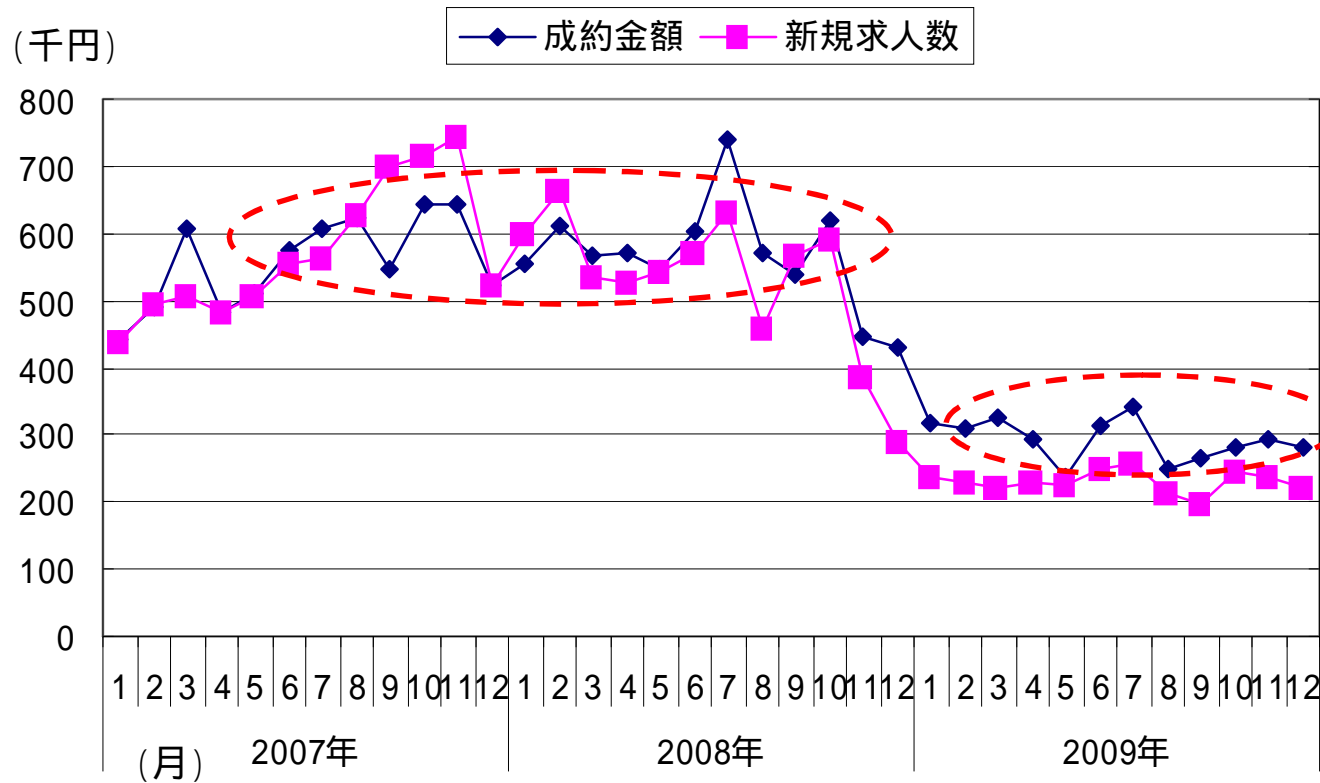
(出所) 有効求人倍率(季節調整値): 厚生労働省



-9 新規求人数の推移

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析

月次成約金額と新規求人数の推移



(件) 新規求人数は
月間平均約6,000件
あったものが、
2008年12月以降、
2,000件まで減少

求人数に比例して
成約金額も減少するも
のの成功率は向上

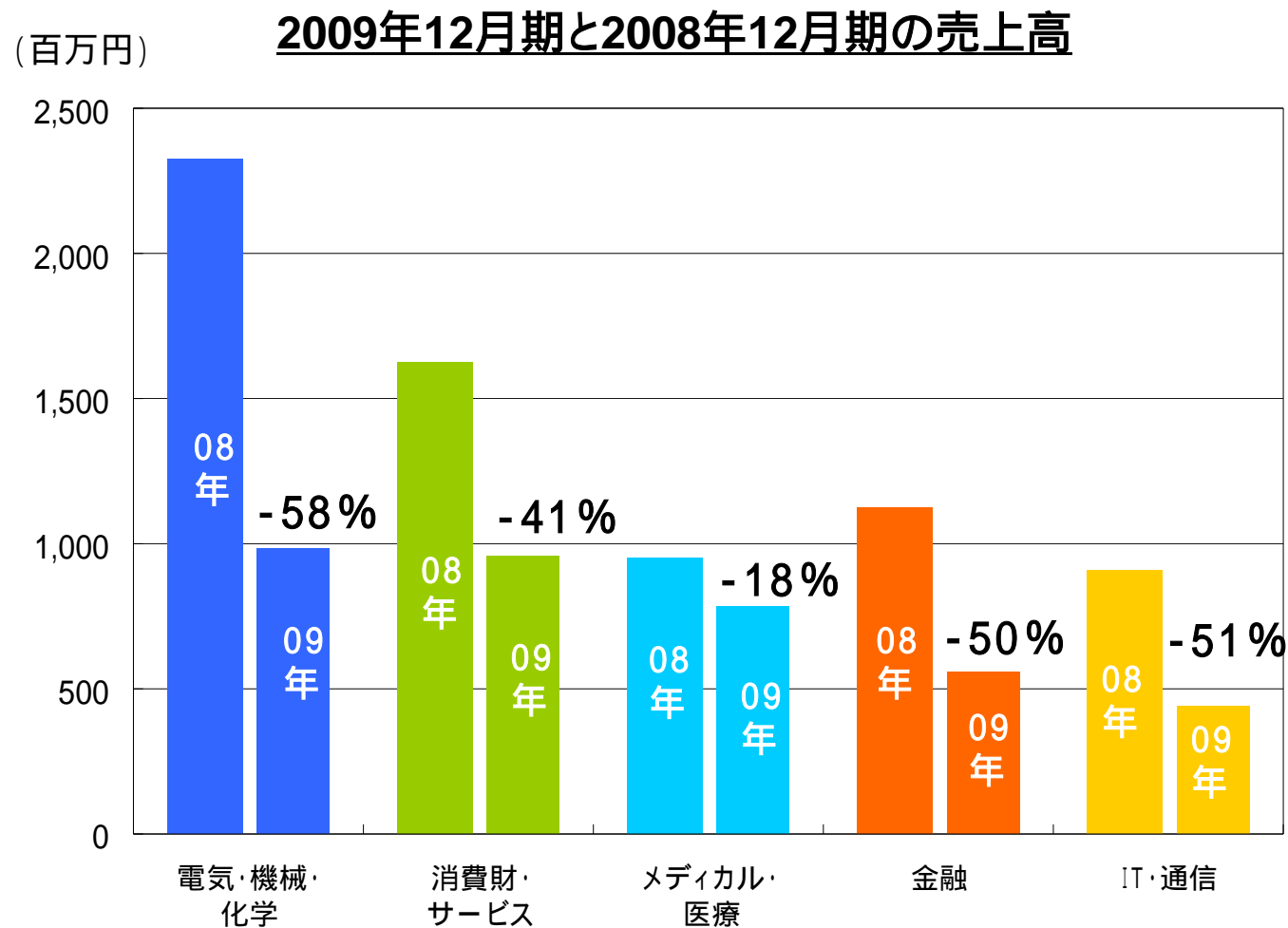
成功率: 求人から成約
に至る率

	2008年	2009年	2009年vs 2008年
新規求人数(件)	63,549	27,658	56.5%
成約金額(百万円)	6,797	3,512	48.3%
成功率	7.4%	9.2%	24.3%



-10 業界別売上高前年同期比較

. 2009年12月期決算概要とマーケット分析



景気悪化に伴い、
全業界で大幅減少

平均44%減



2009年12月期決算概要とマーケット分析

取り組みとその効果

2010年営業方針と事業見通し

その他参考資料



-1 更なる営業1人当たりの生産性向上に注力

・取り組みとその効果

以上のようなマーケットの継続的低迷を踏まえ、
経営の注力を更なる生産性並びに成功率の向上に。
意識の改革と紹介に至る流れの強化ポイントの変更を実施。

また、2009年10月より、その更なる強化のために
機械的マッチングからコンサルテーションを重視した体制へ
組織的変更に着手。

キーポイント

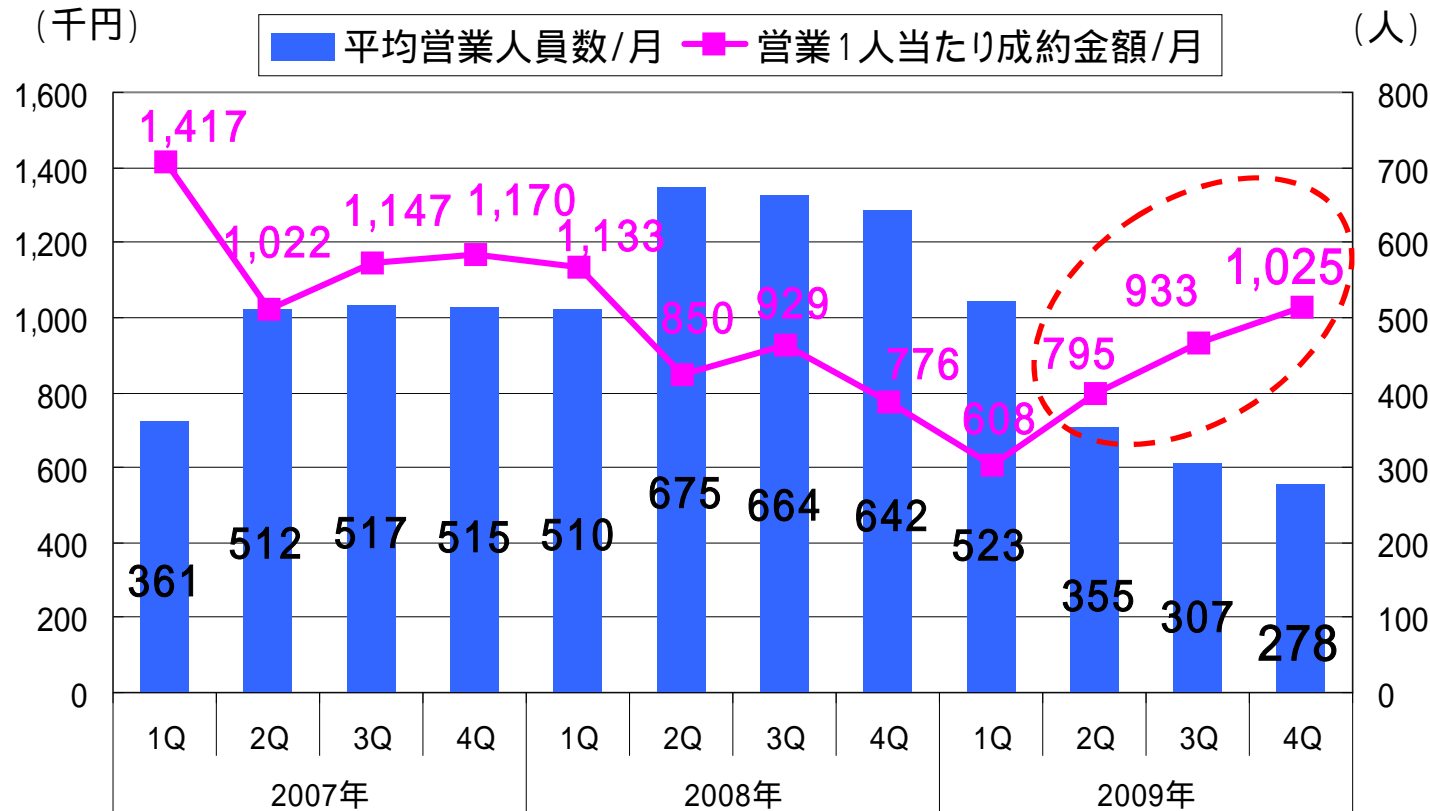
- 1．求人(企業)重視の体制に組織再編
- 2．分業体制の7割を両面体制に変更



-2 営業1人当たりの生産性の推移

・取り組みとその効果

生産性を重視した経営にシフトしたことによる生産性の推移



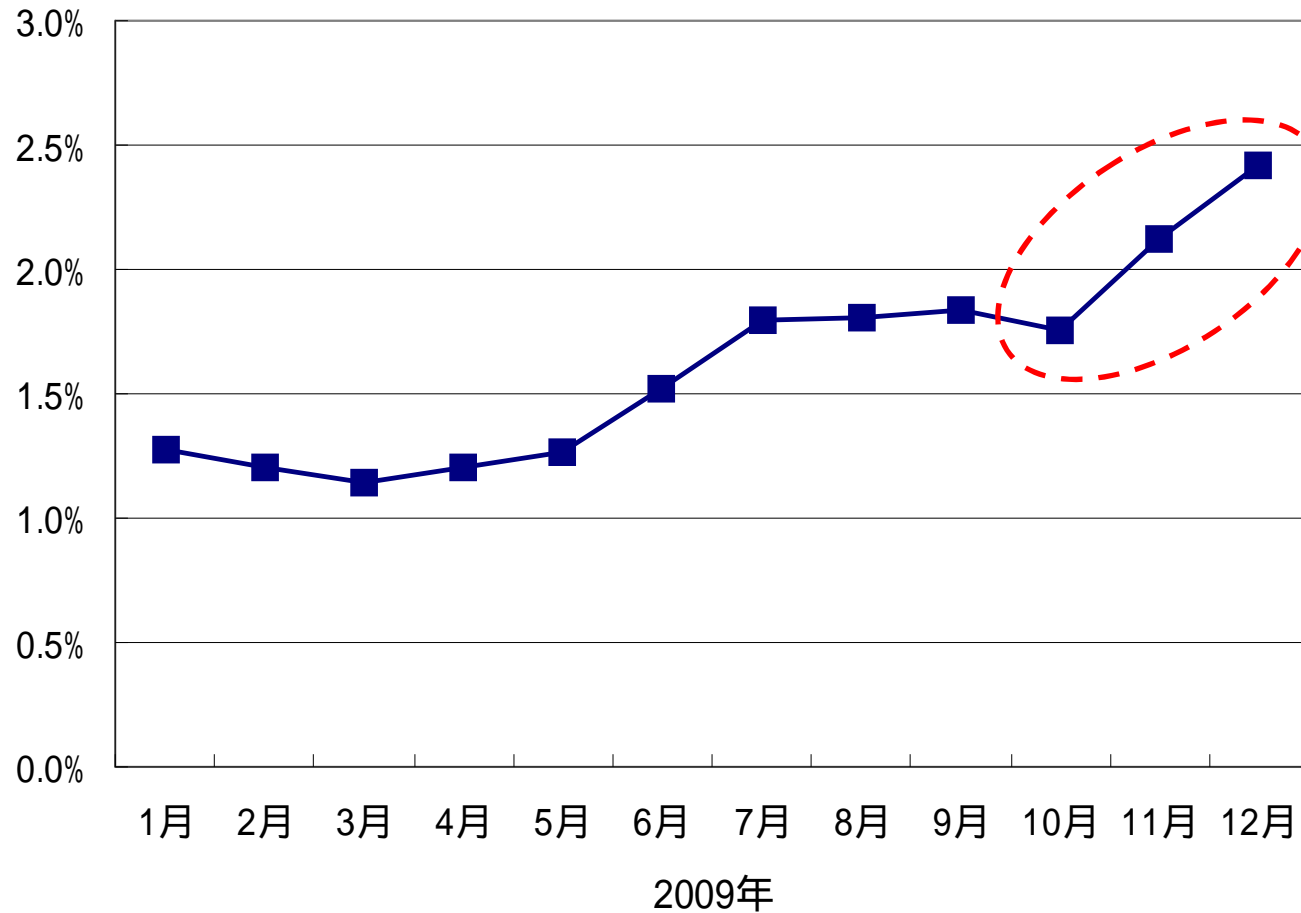
2009年1～2月の
人員削減の実施
並びに体制変更等の
施策により
2009年2Qから
営業社員の生産性が
順調に回復



-3 成功率向上の推移

・ 取り組みとその効果

成功率(企業へのアプライから成約に至る率)が上昇





2009年12月期決算概要とマーケット分析

取り組みとその効果

2010年営業方針と事業見通し

その他参考資料



-1 2010年営業方針

. 2010年営業方針と事業見通し

3 P & を最重視した取り組み

- 1 . Profitability (利益体質の確立)
- 2 . Productivity (生産性の向上)
- 3 . Professional (プロフェッショナル集団)
- 4 . International (インターナショナル領域事業の更なる強化)



-1-1 Profitability

. 2010年営業方針と事業見通し

大幅増収が望めない中、利益確保を現在の最優先課題としています。そのために以下を事業目標といたしました。

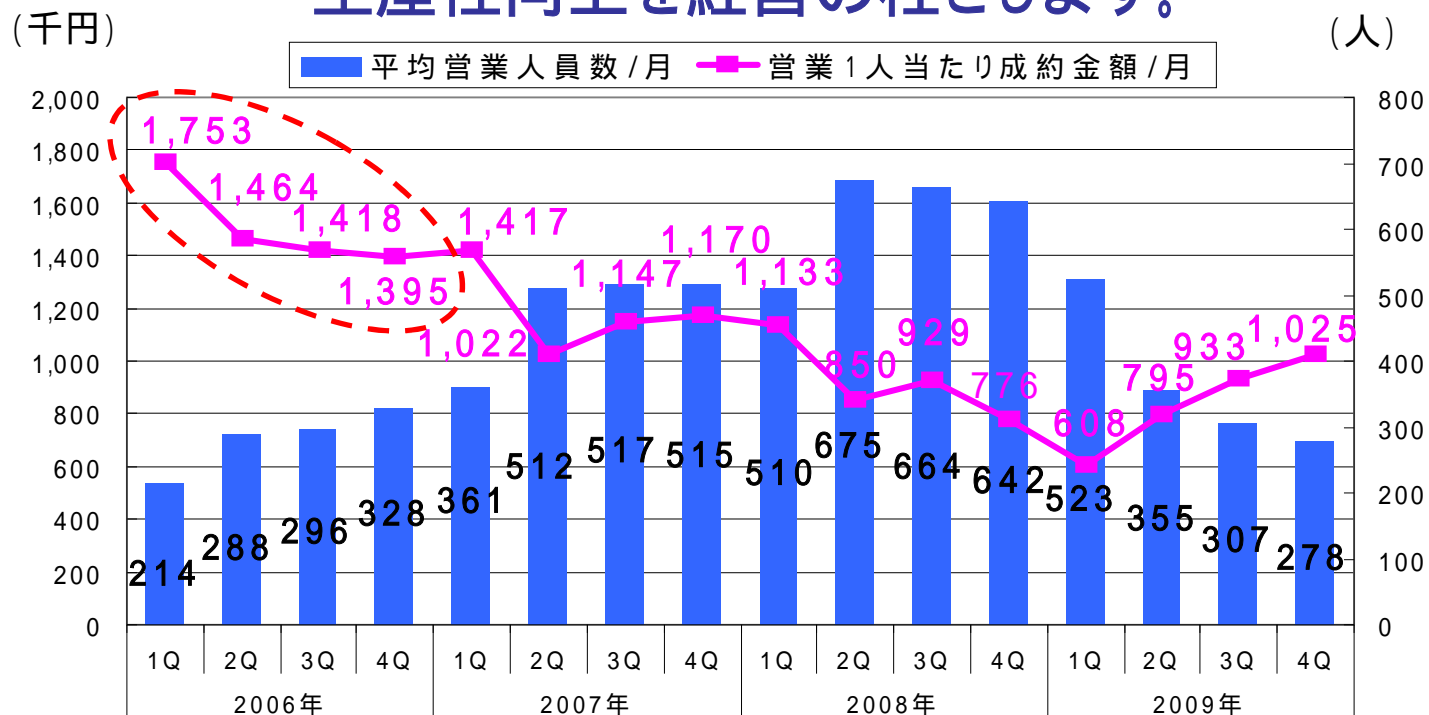
- 1) 各事業所毎にプロフィットが出る体制の確立
- 2) GP(売上総利益)を落とさずに高利益が出せるモデル体制の確立(2010年度中)
- 3) 更なるUNIT PRICE(単価)の上昇 (高額案件にシフト)



-1-2 Productivity

. 2010年営業方針と事業見通し

生産性向上を経営の柱とします。



1) 2006年の営業1人当たりの生産性まで戻す。

(参考) ・2010年営業体制 280～300名予定(2月10日現在275名)

・新規求人数(概数) 2009年 28,000件 2010年 30,000件予定
2006年 50,000件

2) 会社事業全体の生産性にも注力し、その向上も同時目標とする。

(施策) 全営業の、企業との直接関与の強化、
全員が成約までの工程に直接関与する体制を徹底
ご紹介工程に業務の集約を図る



-1-3 Professional

. 2010年営業方針と事業見通し

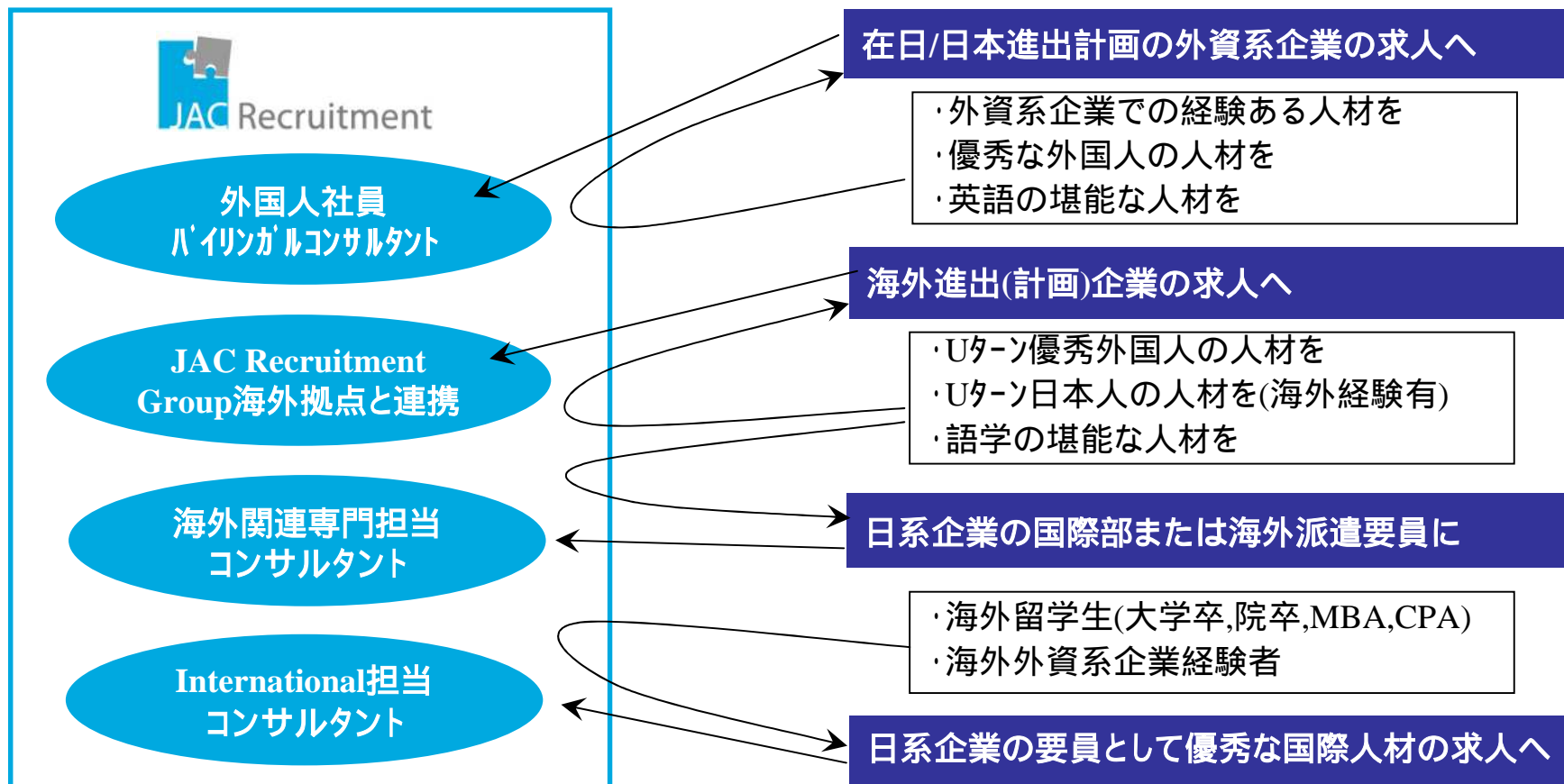
ご紹介手法の変更(間接関与から直接関与)に伴い、その更なる強化により“オペレーションのプロ”から“コンサルタントのプロ”を増大させる。

- 1) ほぼ全員(一部意図的に残す人以外)を、一旦“両面”業務ができるコンサルタントにする。
- 2) 両面コンサルタントの評価バロメーターである成功率(求人から成約に至る率)の向上に重点を置く。現状の2倍を目標に。



-1-4 International

. 2010年営業方針と事業見通し



JACは誕生からこれまでに、常にグローバルな事業推進を図ってきた会社であり、これからも日本におけるInternational Recruitment Agencyとして常に第一人者であり続けます。また今後は日系企業の更なる海外進出に伴い、その分野での人材供給に大きく寄与していきたいと考えています。



-2 2010年 基本事業構成

. 2010年営業方針と事業見通し

1. 人員計画： 営業 280～300名体制を維持
マーケット対応による増員(10%増)の可能性あり
2. 月間経費： 2億8千万円で推移予定
3. 月間売上： 3億15百万円を最低維持予定



-3 2010年12月期 業績見通し(昨年比)

. 2010年営業方針と事業見通し

(単位:百万円)

	09年12月期 通期実績	10年12月期 上半期予想	10年12月期 通期予想	前年同期 差額	前年同期 比
売上高	4,231	1,832	3,785	446	89.5%
人材紹介事業	3,776	1,683	3,511	265	93.0%
人材派遣事業	455	149	274	181	60.2%
売上総利益	3,877	1,706	3,549	328	91.5%
販売費及び 一般管理費	4,614	1,695	3,383	1,231	73.3%
営業利益	736	11	165	901	
経常利益	729	10	163	892	
当期純利益	773	5	153	926	
1株当たり配当金	0.00円	0.00円	0.00円		

< 配当予想 >

今期は黒字の見通しではありますが、過去2期(2008年12月期、2009年12月期)の純資産の減少を鑑み、利益を全額内部留保とするため、配当予想は無配当とさせていただきます。



2009年12月期決算概要とマーケット分析

取り組みとその効果

2010年営業方針と事業見通し

その他参考資料



-1 社会貢献

. その他参考資料

■ PPP Project

„ One Placement creates one Plant to save the Planet “

CO₂削減、地球温暖化防止への貢献

- ・2008年度から会社設立20周年の記念プロジェクトとして実施いたしました
- ・バリ島に、転職をご支援できた方の数の苗木を植樹しております
2009年12月末現在、約 7,600 本を植樹いたしました



■ 社員育児支援 Project

少子化対策への貢献

- ・子供を持つ社員が育児と仕事を両立できる環境づくりの一環として2007年4月から実施しております
- ・育児手当金を支給 上限5万円/月×12ヶ月=60万円/年(子1人当たり)



-2 3ヶ年対比数値一覧

・その他参考資料

	2006年 通期実績	2007年 通期実績	2008年 通期実績	2009年 通期実績
求人・登録者項目				
新規求人数(件)	50,396	68,461	63,549	27,658
新規登録者数(人)	28,040	41,922	56,840	58,736
転職サポート人数(人)	3,454	4,542	4,848	2,754
従業員項目(人)				
期末従業員数	462	654	810	395
企業担当人数	172	258	324	138
人材担当人数	167	247	305	138



本資料お取扱い上のご注意

本資料は株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントの事業及び業界動向についての株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまっています。既に知られたもしくはいまだに知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に対する表明は、2010年2月17日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントにより2010年2月17日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表記の記載をも更新し、変更するものではありません。

資料に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

お問い合わせ先;

広報・IR室 電話 03-5259-6926 もしくは、メール ir@jac-recruitment.jp